

日本大学松戸歯学部

公開研究

研究題目；顎変形症における顔面硬軟組織と歯列の形態的特徴および外科的矯正治療前後の変化について

(承認番号 EC15 - 013)

研究機関・講座 (代表)；日本大学松戸歯学部 歯科矯正学 講座

期間；平成 27年 12月 ～ 平成 32年 10月

意義；

顎変形症における顔面硬組織、顔面軟組織および歯列の形態的特徴を理解することは、外科的矯正治療における診断および治療計画の立案において重要です。また、外科的矯正治療後の顔面硬組織、顔面軟組織および歯列の変化について詳細に調査することは、外科的矯正治療後の治療結果の予測に寄与し、インフォームドコンセントの観点から重要な指標となると考えられます。

目的；

顎変形症症例では上下顎骨および歯列の形態的不調和を呈し、顔面硬組織および顔面軟組織の形態に影響を及ぼします。このことから本研究においては多様な顎変形症における顔面硬組織、顔面軟組織および歯列について詳細に調査し、形態的特徴を明らかにし、また外科的矯正治療が適応とされる顎変形症について治療前後の顔面硬組織の形態的变化が顔面軟組織形態におよぼす影響について検討します。

方法；

顎変形症症例および顎変形症を認めない患者の頭部X線規格写真(側面、正面、軸位)、顔面写真(側面、正面)および口腔模型を用い、矯正治療診断項目について距離計測および角度計測を行います。頭部X線規格写真(側面、正面、軸位)、顔面写真(側面、正面)および口腔模型の計測は精密検査、外科手術術前、外科手術術後および治療終了時の資料を用います。得られたデータの分析を行い、顎変形症症例の顔面硬組織、顔面軟組織および歯列の形態的特徴と外科的矯正治療後の変化について検討します。

ご自身の診療録データを本研究で使われたくない場合はお申し出ください。あなたに関する研究データは廃棄され、それ以降は研究目的に使用されることはありません。ただし、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合など、研究データを廃棄できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ・苦情等の窓口；

日本大学松戸歯学部 歯科矯正学講座 代表者： 齋藤勝彦
電話番号： 047-360-9412